

見えた 何が 永遠が

立花さんが最後に夢見たのは、

「一人一人が、自ら学び、より高い知を求め
集積して行く事。そして、人類全体が
一体となって、より高い次元の思考が
出来るようになる。」

次の進化だったのでしょうか。

立花さんが「全てを、無にした」ことは、
「知ることに限界はない」と伝え続けた、
あなたの最後の決意だったのですね。

「果てしない知の世界の高みに、
人間がどこまでたどり着き、どう進化して
いくのか？ その為に人間が、どう生きて、
どう死ぬのか？ それこそが私たちに残した
宿題なのだ。」と、言い残していました。

立花 隆…“知の巨人“と呼ばれた伝説の
フリージャーナリスト